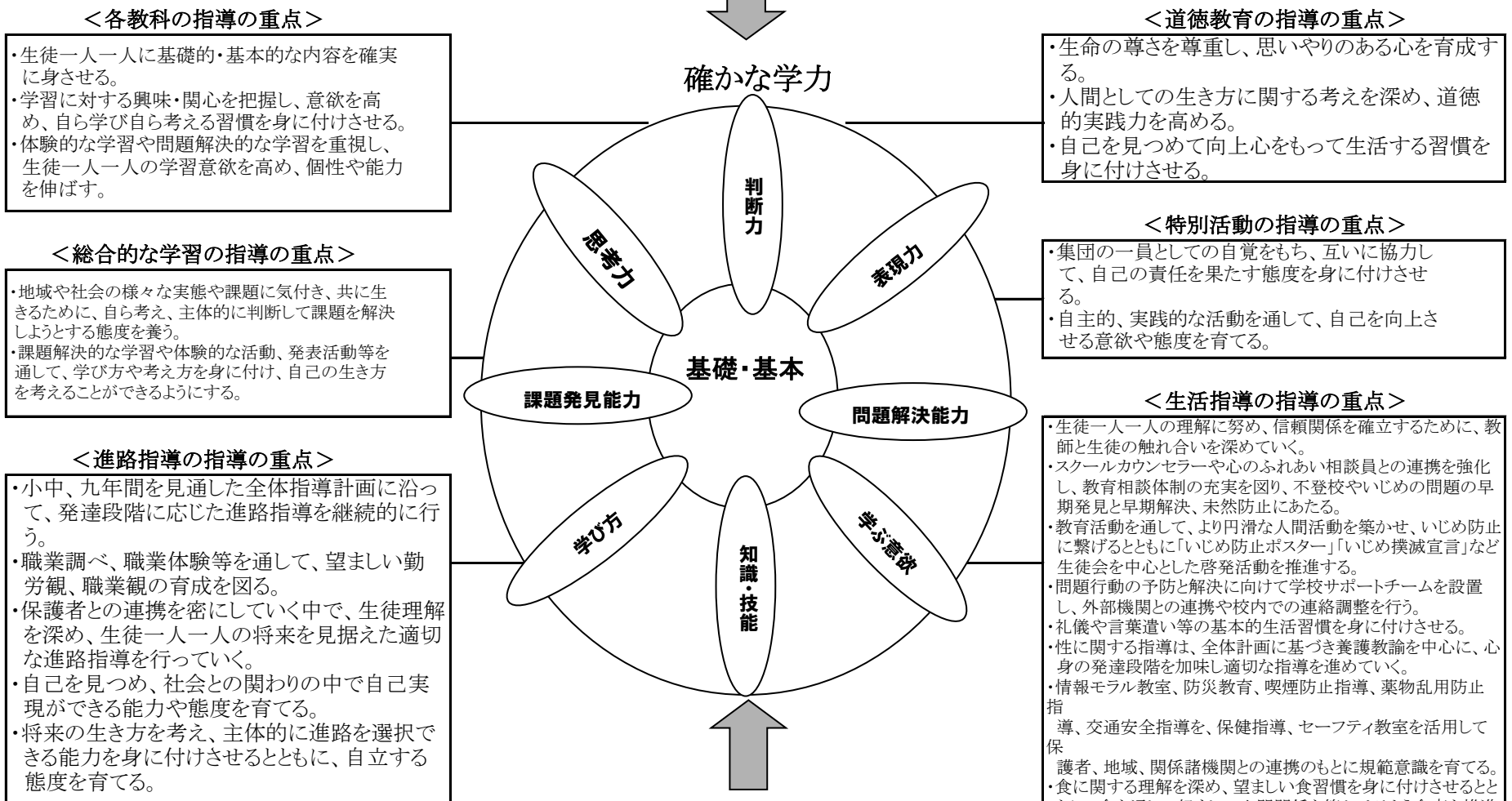
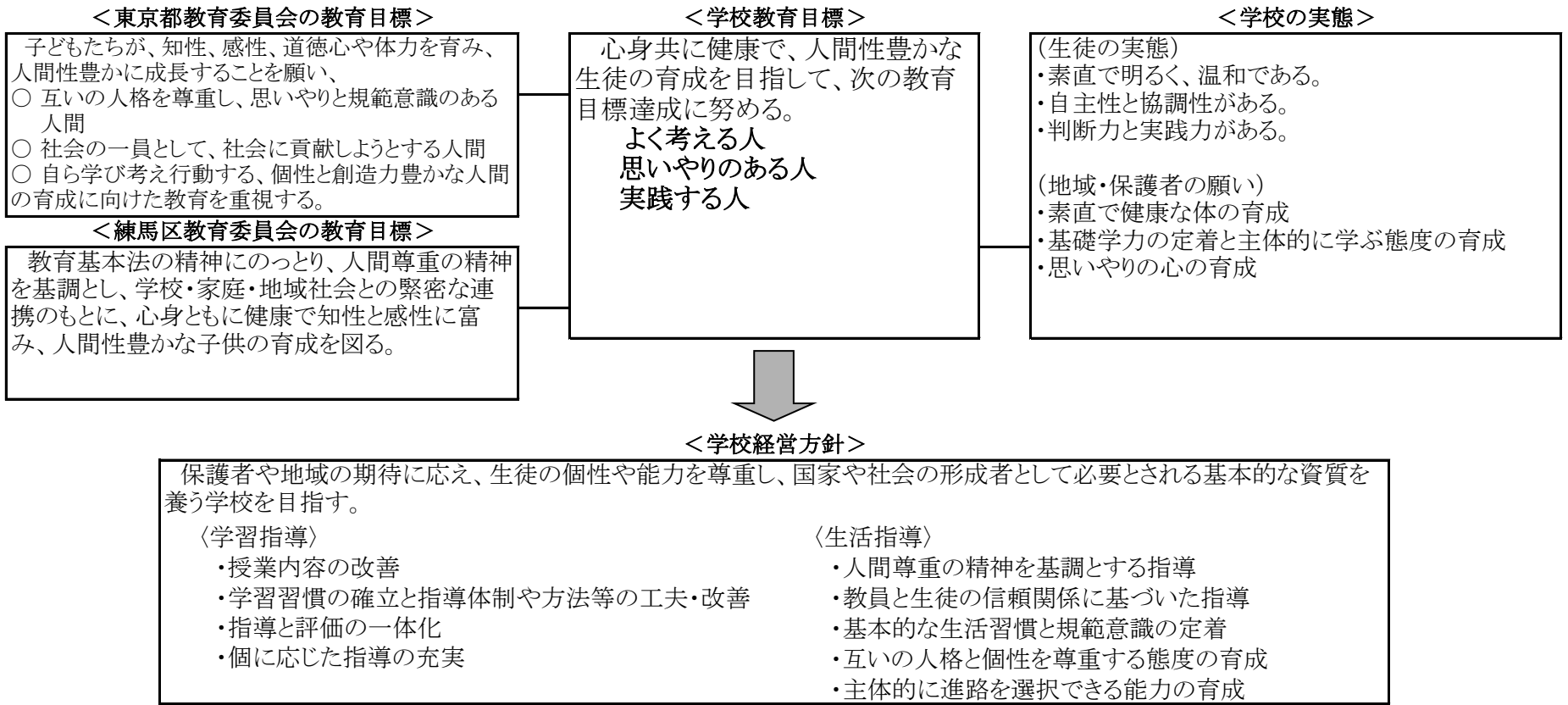


# 学力向上を図るための全体計画(平成25年度)



**<本校の授業改善に向けた視点と工夫>**

教育課程編成	校内の研究や研修	評価活動	家庭や地域との連携	小中一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の主体的な学校生活への取り組みを重視する。</li> <li>体験的な活動、問題解決的な学習を重視する。</li> <li>貫井図書館と連携し学校図書館を活用し読書活動を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒理解を深め、個に応じた指導の充実を図る。</li> <li>各教科での教員相互の授業研究や、研究授業を通して、授業改善を図る。</li> <li>教員の特別支援教育に関する専門性を高め、適切な教育的支援を行う。</li> <li>新学習指導要領を踏まえた研究や研修の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価規準を明確にし、指導と評価の一体化を図り、肯定的な評価の工夫を行って生徒の学習意欲を高める。</li> <li>生徒による授業評価アンケートを実施し、授業改善に生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者と連携して、家庭学習習慣を身につけさせる。</li> <li>地域の教育力を取り入れた授業を積極的に実施する。</li> <li>保護者による学校評価アンケートを実施し、学校運営や授業改善に生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携小学校との連絡協議会を活性化させ、生徒の情報交換を密にする。</li> <li>海外派遣生徒の体験を、連携の小学校で児童に説明をし交流の場とする。</li> <li>小学校での学習内容を踏まえ、中学校の学習内容のオリエンテーションをしながらスムーズに授業に入れるようにする。</li> <li>職業体験では連携小学校も体験場所の一つとして交流を図る。</li> </ul>